

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



箱館ハイカラ號

No. 154 函館商工会議所報
1994 — 7月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

| | | | | | |
|--------|----------------|-----------------|-------|-------------------|-----------------------|
| 本店 | 函館市豊川町15番20号 | TEL 22 -1247(代) | 亀田支店 | 函館市亀田本町56番4号 | TEL 42 -3820(代) |
| 松風町支店 | 函館市松風町11番15号 | TEL 23 -6221(代) | 中道支店 | 函館市中道1丁目24番12号 | TEL 51 -1711(代) |
| ばんたい支店 | 函館市宮前町14番15号 | TEL 41 -6236(代) | 上磯支店 | 上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号 | TEL 73 -2151(代) |
| 五稜郭支店 | 函館市本町30番24号 | TEL 52 -0511(代) | えさん支店 | 亀田郡恵山町字中浜115番の4 | TEL 84 -2111(代) |
| 弁天支店 | 函館市弁天町13番11号 | TEL 26 -3646(代) | 七飯支店 | 亀田郡七飯町字本町392番8 | TEL 65 -2501(代) |
| 千代台支店 | 函館市千代台町12番22号 | TEL 51 -5238(代) | 木古内支店 | 上磯郡木古内町字本町53番1 | TEL 木古内 2 -3121(代) |
| 湯川支店 | 函館市湯川町2丁目18番7号 | TEL 57 -1492(代) | 知内支店 | 上磯郡知内町字重内13番地の11 | TEL 知内 5 -5611(代) |
| 花園支店 | 函館市日吉町1丁目27番3号 | TEL 53 -5521(代) | | | |

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ7月号(通巻154号) 目次 ●

今月の表紙／視点……………1
 会議所の動き……………25

・第6回通常議員総会

・全道商工会議大会等開催

・本所部会・委員会開催

・陳情・要望活動

・函館・ユジノ間国際定期便就航

・共済事業功労者表彰式

データをチェック……………6

調査レポート……………69

地域の景気 金融経済概況 (五月)

市内第一種大規模小売店舗売上高 (五月)

平成5年度 観光客入込み数

誌 上 講 演……………1011

・エイズと企業・予防と対策 (最終回)

・人を活かす **個性ある人間**

共済推進コーナー……………1312

ティータイム……………1312

・暮らしのワンポイント

・アイ・ラブゆうちゃん

・有段を目指して 詰碁・詰将棋

アドバイスコナー……………1415

・上杉鷹山に学ぶ経営戦略 (4)

Q & A……………1617

・みんなの相談室

ご 案 内……………1820

・会員の皆様へお願い

・刊行物のご案内

・札幌商工会議所付属専門学校入学金割引

・函館港まつり主要行事日程

・市民創作函館野外劇公演のお知らせ

・ケーブルテレビ加入のご案内

・ご利用下さいノ本所の個別専門相談

◇今月の表紙
 箱館ハイカラ號
 チンチン電車の愛称で親しまれている箱館ハイカラ號は、明治四十三年(一九一〇年)に製造された米國プリル社の台車を客車に復元したものである。この台車は、千葉県の成田電気軌道株式会社で客車として使用されていたが、大正七年に、函館の路面電車として買収されさらに、昭和十二年からは、サラ式除雪車に改良、ごく最近まで使用されてきた。そして、平成四年の市制施行七十周年、及び、平成五年の路面電車開業八十周年・市営交通発足五十周年を迎えるにあたり記念事業の一環として、当時のモデルを基に復元された。現在は、西部方面を中心に、四月十五日から十月三十一日まで、当時の服装の乗務員で運行されており、市民・観光客から好評を得ている。

視 点



平成六年も半分を過ぎました。どうやら前半は平年並の天候でしたが、後半はそれ以上のものが欲しいものです。所で少数連立与党で頑張ってきた羽田内閣も、平成六年度予算の成立とともに、戦後二番目の短命内閣として総辞職し、次の首相には村山社会党委員長が指名され、戦後二人目の社会党出身の首相による内閣が発足することとなりました。村山内閣を支える与党は社会党、自由民主党そして新党さきがけで、連立の与野党が全く入れ替りました。しかし、ここ一兩年の間にこうも目まぐるしく入れ替るといふことは、国民の側にとって、とまどいが生じてくるのは当然のことといえます。政治は国民のためのものであって、各党派の党利党略のためのものではない筈です。こうなつた以上は、一刻も早く国民の洗礼を受けること、即ち総選挙を早々に実施する必要があるということではないでしょうか。

このように政局が混迷している中で、円は遂に一ドル百円の大台を割り、戦後の最高値を更新しました。このため、期待されていた景気回復の波も出鼻をくじかれ、輸出産業は大きな打撃を蒙り、国内産業の空洞化にもはつきりつきまた、失業率の悪化などの懸念がささやかれています。

細川内閣以来、政治改革優先できた政治も、この辺で経済対策にも重点をおく施策が必要なのは、申し上げるまでもなく、一日も早く、この経済難局を切抜けるための方策を樹立、実行して欲しいものです。

会議所の動き



平成五年度 事業報告・収支決算等を承認

第6回
通常議
会総

本所第六回通常議員総会は、去る六月二十七日、五島軒駅前店において、議員八十四人（うち委任出席二十三人）が出席して開催され、六月十三日の第十一次常議員会で議員総会に提案することが決定された、平成五年度の事業報告、並びに収支決算等を審議し、い



▲冒頭挨拶をする若林会頭

れも原案どおり承認しました。議事に先立ち、道商連及び本所表彰規程により表彰を受けられた議員六名、職員二名に対し、表彰状の伝達が行われました。

次いで、若林会頭の開会挨拶の後議事に入り、まず報告事項として、議員の異動、陳情・要望活動について事務局より報告がなされた後、三部会、四委員会から、それぞれ報告が行われました。

次いで、先の常議員会で加入が決定された新会員についての報告があり、いずれも異議なく了承されました。

附議事項については、まず関連する平成五年度事業報告と収支決算が一括上程され、それぞれ原案どおり議決されました。続いて、事務局より議員改選日程について、確認の報告がなされました。

概要は次のとおりです。

▽平成五年度事業報告

各種事業活動の特記すべき事項として、高速交通網の整備促進、各種シンポジウム等開催、函館港の整備充実と駅前周辺地域整備計画の策定、経済団体問題研究会の設置、会員懇親の集いを始め、平成七年九月の本所創立百年に向けた取組みなど、本所運営の充実強化等について説明がなされました。

▽平成五年度収支決算

収入の部では、決算額は予算比二・六％増の三億三千四万八千八百六十三円となり、また支出の部では、二億九千六百二十二万三千四百一十円で、次年度繰越金は三千三百九十二万八千五百二十二円となった旨の説明がなされました。



全道商工会議所大会 並びに日商移動常議員会開催

第四十四回全道商工会議所大会は、去る六月七日網走市で開催され、道内四十一商工会議所から正副会頭・議員等約六百名が出席して、各地で直面する諸問題について活発な討議が行われました。本所からは、副会頭・議員等十名が参加しました。

当日午前中には、従来の四分科会を三分科会（中小企業振興、運輸観光、地域振興）として、関係省庁担当官による講話が行われた後、各地からの提出議案二十六件を審議し、いづれも午後の本大会に提案することを決しました。また、本大会では、地元の松田会頭を議長に議事が進められ、午前中の分科会の審議について各委員長より報告がなされ、三件の特別提案ともども満場一致で議決されました。最後に、全道商工会議所は、地域商工業の改善、発展に努めるとともに、当面する課題の解決に一致団結邁進するとの大会

宣言を行ない、さらに本日決定された諸事項の実現を期しての決議を採択して閉会しました。

去る六月十五・十六日の両日、稚内市で北海道商工会議所連合会の常議員会、通常会員総会とともに、日本商工会議所正副会頭と北海道ブロック会頭との懇談会や日商の移動常議員会、議員総会が相次いで開催され、本所から若林会

頭と野崎事務局長が出席しました。

道商連の常議員会、通常会員総会では、平成五年度の事業報告と収支決算等がすべて原案どおり決定され、日商正副会頭との懇談会では、本所若林会頭から東京・東北・北海道を結ぶ新国土軸の形成と総合交通ネットワークの整備促進について強く支援方を要請しました。

一方、日商の常議員会・議員総会では、明年度の中小企業関係施策に関する要望や政策委員会の報告等が承認されました。

商業部会幹事会・国際交流委員会開催

◎商業部会幹事会

ジャンポイエロー金堀店の新設及びアルペン函館の、増床と閉店時刻の繰下げの届出に伴う商業部会幹事会が、去る六月十七日午前

十時より本所会議室において開催されました。会合では、前記二案件の届出内容の概要説明がなされた後、協議が行われ、地元商業者等への影響を考慮し、店舗面積に

全会一致でこれを推進することになりました。

これを受け、六月二十八日に本所、観光協会、航空会社、旅行代理店、国際交流団体等二十四団体で構成する「国際チャーター便就航推進連絡協議会」が設立され、チャーター便の増発に向けた活動を展開することになりました。

陳情・要望活動 活発に実施

本所では、当地域振興発展のため、当面する課題の実現に向け関係団体と協調し、次のとおりの陳情・要望を、相次いで実施しました。

◎『北海道開発幹線自動車道建設促進期成会中央陳情』
(平成六年六月三日)

◎『勤労者総合福祉施設の建設について陳情』
(平成六年六月二十日)

◎『函館工業高等専門学校「物質工学科」及び「環境都市工学科」の設置について要望』
(平成六年六月二十日)

◎『消費税問題に対する緊急要望』
(平成六年六月二十日)

ついでには、一割及び二割程度の削減、他については届出どおりとする結論に達し、会頭に答申することとなりました。

◎国際交流委員会

国際交流委員会が、去る六月十八日、本所にて開催されました。

当日は、国際チャーター便の就航推進に向けた民間組織の設置について検討を行い、協議の結果、

函館—ユジノ間国際定期便就航 記念事業として同市を訪問

函館空港が、去る四月四日、函館—ユジノ・サハリンスク間国際定期便の就航により道内二番目の国際空港になったことから、その記念事業として、六月六日から四日間の日程で函館市の代表団が同市を訪問しました。

この代表団は、木戸浦市長を団長に、本間市議会議長、本所若林会頭が副団長として参加したほか、藤谷日口親善協会長、石原日銀函館支店長など十七名で編成されたものです。

代表団一行は、深夜にもかかわらず(時差のため午後十一時到着)空港で、ファルディノフ市長をはじめ、ロシアの民族衣装をまとった多くの方々の、盛大な出迎えを受けました。

翌日は、ユジノ・サハリンスク市とサハリン州行政府へ表敬訪問をしたほか、午後には、地元を経済関係者との懇談会に出席しまし

た。

この中で、同州側から定期便を活用し、ウニ・カニなど水産物の輸出についての提案があったほか、就航以来同航空路の利用者が順調に推移していることから週三便への増便や、運航時間帯の変更などについても話し合いが持たれました。

本所四共済事業 平成五年度功労者表彰式

本所四共済事業の受託生命保険会社との連絡会議、並びに、平成五年度功労者表彰式が、去る六月二十七日、函館国際ホテルにおいて開かれました。

当日は、共済への加入拡大を推進していくための連絡会議が行われた後、功績をあげた受託生命保険会社三社と功績者十五名の表彰式が行われました。表彰式では、高野副会頭より祝辞が述べられ、

また、ユジノ・サハリンスク市側から本所に対して、今後の経済交流促進のための窓口として、同市内に商工会議所を設立したいとの希望が示され、本所から関係資料を送付し、同市側で調査研究を進めていくことになりました。

また、今後両市の文化・経済交流の絆がより一層深まることを祈念して、同市内の公園に「千島桜」を植樹したほか、日本人墓地への献花などを行い、代表団の全日程を終了しました。

受彰者に感謝状と記念品が贈呈され、受彰者を囲んでの懇親会も開かれました。

当日の表彰者は次の通りです。

◎生命共済事業功労者

△団体の部

日本団体生命保険(株)函館支社

△個人の部

野田辰男、辰宮清春、福田啓子
小林麗香(以上日本団体生命)

久木田真(三井生命)

◎特定退職金共済事業功労者

△団体の部

第一生命保険(株)函館支社

△個人の部

土岐英子(第一生命) 渋谷貞子、
坂本恵美、田中ケエコ、前田和
雄(以上大同生命) 斉藤久美子
(日本団体生命)

◎年金共済事業功労者

△団体の部

富国生命保険(株)函館支社

△個人の部

成田信子(第一生命) 小崎節子、
木下美津子(以上富国生命) 佐
藤初江(明治生命)



▲高野副会頭より感謝状贈呈



事務局日誌

6月

- * 正副会頭会議
 - 2(木) 第64回正副会頭会議
 - 13(月) 第65回正副会頭会議
 - 28(火) 第66回正副会頭会議
- * 総会
 - 27(月) 第6回通常議員総会
- * 常議員会
 - 13(月) 第11回常議員会・常議員懇談会
- * 監査会
 - 1(水) 会計監査会
- * 部会
 - 17(金) 商業部会幹事会
- * 委員会
 - 9(木) 総務委員会
 - 16(木) 国際交流委員会
- * 会議(日商)
 - 16(木) 第427回常議員会(移動)
 - 第130回議員総会・昼食懇談会
 - 日商正副会頭と北海道ブロック会頭との懇談会
 - 夕食懇談会
- * 会議(道商連)
 - 6(月) 第157回全道商工会議所専務理事事務局局長会議
 - 7(火) 第44回全道商工会議所大会・分科会・本大会
 - 15(水) 正副会頭会議
 - 第115回常議員会
 - 第123回通常会員総会
 - 24(金) ビジョン策定検討委員会第1回検討委員会
- * 審査会
 - 15(水) 第3回 小企業等経営改善資金審査会
- * 諸会議
 - 1(水) 函館経営者協会役員会・定時総会
 - 函館販売士協会正副会長会議
 - 3(金) 函館卸商連盟役員会
 - 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会総会
 - 函館空港整備促進連絡協議会総会
 - 6(月) 国民金融公庫平成6年度懇談会
 - 7(火) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会推進委員会
 - 8(水) 1994年度第3回函館夜景の日実行委員会
 - 本所婦人会6月例会(植樹)
 - 10(金) 函館市公文書公開審査会
 - 平成7年3月新規学校卒業生就職打合せ協議会
 - 函館港利用促進協議会(ポートセールス)反省会
 - 13(月) 渡島地方職業病防止対策連絡協議会平成6年度役員会・通常総会
 - 14(火) 函館ハーフマラソン大会実行委員会
 - 箱館五稜郭祭交通対策部会
 - 多目的スタジアム建設についての懇談会
 - 函館販売士協会役員会・定時総会
 - 15(水) 函館港まつり開港セレモニー打合せ
 - 16(木) 平成6年度 渡島支庁管内商工労働観光施策推進会議(指導員一般コース)
 - 1994年度函館夜景の日実行委員会資金造成部会
 - 四共済幹事会社打合せ
 - 17(金) (仮称)函館港まつり実行委員会
 - 20(月) 所得税特別減税本所講習会
 - 21(火) 所報「ともえ」7月号 No.154 編集会議
 - (仮称)「いかの街はここで」キャンペーン第1回幹事会
 - 函館卸商連盟定時総会・講演会
 - 22(水) 箱館奉行所復元促進期成会幹事会
 - 23(木) 新幹線青森・函館同時開業促進期成会 常任幹事会
 - 24(金) 函館シーボートプラザ第5回定時株主総会
 - 27(月) 四共済連絡会議
 - 28(火) 第2回国際チャーター便就航推進懇談会
 - 改正された観光土産品公正競争規約講習会
 - 第1回小規模企業振興委員連絡会議
 - 函館市中小企業融資制度に関する懇談会
 - 29(水) 開港135周年記念函館港まつり「万人踊りパレード」事前説明会
 - 30(木) 国立函館大学誘致促進期成会 構想調査委員会
 - 市三役と本所三役との懇談会

平成6年度みなみ北海道観光連盟 通常総会
 函館地域デザイン振興連絡会議
 中小企業金融公庫函館支店勉強会
 65歳継続雇用地域推進事業に係る事務打合せ

- * 講習・催物
 - 3(金) 複式簿記実務講座(～6/17までの毎週火・金曜日)
 - 15(水) 函館靴履物卸協会第48回秋・冬函館シューフェア
 - 21(火) 白色申告者記帳開始説明会
 - 24(金) 経営安定セミナー「したたかな経営のすすめ」
法律相談
 - 28(火) 源泉所得税(1～6月)納税相談(～7/11)
 - 30(木) 第28回東北の観光と物産展
- * 刊行物
 - 10(金) 所報「ともえ」6月号 No.153
 - '94 ミニ経済情報はここで
 - 16(木) 就職情報誌「イアラ」
- * 相談・診断
 - 金融 86 税務 77 経理 15 経営 75
 - 労働 1 取引 1 その他 2 合計 257
- * 貸室 22
- * 文書 受信 244 発信 27
- * 検定試験
 - 12(月) 第80回簿記検定試験
 - 26(日) 第141回珠算能力検定試験
- * 陳情・要望
 - 3(金) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会中央陳情
 - 7(火) 勤労者総合福祉施設の建設について
 - 20(月) 函館工業高等専門学校「物質工学科」及び「環境都市工学科」の設置(改組)について要望
 - 消費税問題に対する緊急要望
- * 慶事・その他
 - 1(水) 函館-福島線就航初便記念式典
 - 福島空港コンピューター機就航記念キャンペーン
 - 福島県庁他一行 表敬訪問
 - 福島県庁他一行 歓迎レセプション
 - マルカツスポーツベーススウェーブ新施設披露
 - 2(水) 函館国際ホテル別館・新宴会場オープン披露
 - 北原普通市議会議員来所
 - 函館市国際交流課来所
 - 3(金) NHKふるさと産業情報 電話収録
 - 財テクノポリス函館技術振興協会成田課長・高橋主事来所
 - 6(月) 第44回全道商工会議所大会参加議員本所懇親会
 - 「函館-ユジノサハリンスク線国際定期便就航記念事業」サハリン州への代表団
 - 8(水) 函館広告美術業協同組合相談役神田光彩(保男)氏
 - 勲六等瑞宝章叙勲受章祝賀会
 - 9(木) 優良警察職員表彰
 - 榎竹田食品創立10周年記念講演・祝賀会
 - 14(火) 函館工業高等専門学校延興学校長来所
 - 石川島播磨重工札幌支店安西副支店支店長来所
 - 15(水) 須賀川市長・玉川村収入役 表敬訪問
 - 須賀川市長・玉川村収入役 歓迎会
 - みちのく銀行福原函館支店長来所
 - 函館日米協会渡辺専務理事来所
 - 池見厚一議員来所
 - 16(木) 南アフリカ共和国プリンス特命全權大使歓迎会
 - 北海道教育大学函館校石井助教授来所
 - 日商岩井(株)川島理事北海道支社長来所
 - 17(金) 南アフリカ共和国プリンス特命全權大使 表敬訪問
 - ㈱ジャックス40周年謝恩パーティ
 - アサヒ電材(株)増田代表取締役社長他 表敬訪問
 - 函館都心商店街振興組合渡辺理事長・川上専務理事就任挨拶
 - NHK函館放送局滝沢局長 転任挨拶
 - 20(月) 北海道工業大学有江学長来所
 - 日本通運(株)函館支店米口新支店長・小家旧支店長来所
 - 22(水) 立函館高等技術専門学校前田学院院长・橋本庶務課長来所
 - 24(金) はここで市民テレビ開局披露パーティ
 - 26(日) 自由民主党函館支部第40回定期大会
 - 27(月) 平成5年度共済制度加入促進功労者表彰式・懇親パーティ
 - 北海道通商産業局商工部高山次長・機械情報産業課木本課長補佐来所
 - 28(火) 北海道開発コンサルタント南谷新所長来所
 - 29(水) 平成6年度第1回四共済ゴルフコンペ
 - 第28回東北の観光と物産展一行 表敬訪問

6年度本予算成立の遅れから、前年比マイナス28.7%と大幅に減少。一方、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(5月)は、持家、貸家とも高い伸びを示し、2か月連続して同プラス55.1%と前年を大幅に上回った。この間、建設業者は、公共工事の豊富な受注残を抱えているほか、住宅投資が好調に推移しているため繁忙感を持続している。

(5) 農・漁業

農業では、6月入り後も天候に恵まれたことから、水稻、馬鈴薯の生育状況が順調となっているほか、野菜の生育は平年に比べ若干進んでいる。漁業では、6月1日解禁の近海マイカ漁は、前年に比べ順調な水揚げとなっている。

(6) 消費関連

5月中の市内大型小売店(10店ベース)の売上高は、前年比マイナス5.1%と21か月連続して前年を下回ったが、販売内容をみると前月に続き主力の衣料品に動意が窺える。また、耐久消費財では、家電販売はAV関連機器が不冴えだったものの、白物家電を中心に引続き底堅い動きがみられるほか、新車自動車販売は、ディーラー各社の買替え需要層に対する積極的なアプローチや割安な新車投入の効果等から、これまで不振であった小型車が前年を上回り、5月の新車登録台数は前月に

比べ同マイナス4.2%とマイナス幅を大幅に縮小した。この間、観光・レジャー面をみると、団体客を中心に入込みが伸悩んだため、5月の市内主要ホテルの宿泊客数が同マイナス1.3%と7か月振りに前年を下回ったほか、観光施設の利用も低調であった。

3.金融事情(5月中)

実質預金をみると、一般預金で前月末に決済資金が滞留した(月末日が休日であったため)反動と税収不足を背景とした公金預金の入金減によって、月中では97億円減と前年の同173億円増とは様変わりでの減少となった。また貸出は、企業の借入姿勢が依然抑制的であるほか、金利負担軽減のための借入金返済の動きが続いていることから、月中141億円の減少となった。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中マイナス0.012%と小幅低下した。

銀行券は、月中163億円の還収超と前年の同143億円還収超を上回った。

財政収支は、地方公共団体への運用部貸付や公共事業費の支払いが増加したものの、前年の米不作の影響から食糧の受入れが増加したため、収支戻は月中100億円の払超と前年(同103億円払超)並みであった。

データをチェック!

子供の存在意義は?

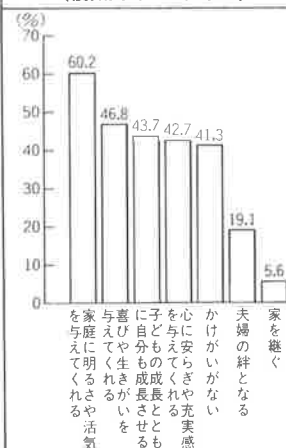
～家庭に明るさや活気を～

子供が家庭にいるのを、親はどのように感じているのでしょうか。平成5年に行われた「青少年と家庭に関する世帯調査」(複数回答)によると、最も多い回答が「家庭に明るさや活気を与えてくれる」の60.2%。次いで、「喜びや生きがいを与えてくれる」が46.8%、「子供の成長とともに自分も成長させる」が43.7%。精神的な面を挙げた回答が、上位を占めています。

一方、子供に「家を継ぐ」「自分の夢を託す」「老後の面倒をみてもらう」など、親の都合や希望を含めた回答は、それぞれ5%程度と極端に低くなっています。「子供は親のもの」といった従来の考え方が、減っている表れとすることができます。

一人の女性が、一生の間に生む子供の数は、平成2年で1.54、3年で1.53、4年で1.50と、減り続ける傾向をみせています。こうした小児時代を迎え、家庭の役割の中でも、「子育て」のもつ意味が、以前より重要な位置を占めるようになりました。

子どもの存在意義に対する意識
(複数回答・上位7つ)





1. 概況

管内経済をみると、住宅投資、公共投資の好調持続に加え、低迷が続いていた個人消費においても一部に持直しの兆しが窺われるなど、景気全体は、緩やかに回復に向かう可能性を高めている。この間、企業経営者のマインドにも徐々に明るさがみられ始めている。

すなわち製造業では、水晶振動子が移動体通信向けの輸内需好調から、セメントも官公需中心に、ともにフル生産体勢を継続している。また、半導体が米国向け4MDRAMの需要好調等から高水準の操業となっているほか、造船、合板機械、漁業機械も引続きまずまずの操業となっている。また、水産加工の売上も、生鮮珍味を中心に前年をやや上回った。これに対して、製缶機械は減産体勢を継続しているほか、水産加工機械の売上も一時的に前年を上回ったものの、需要自体は依然弱い。

一方非製造業では、5月の市内大型小売店の売上は引続き前年を下回ったが、数量的には前月に続き主力の衣料品に動きがみられる。耐久消費財では、家電販売は白物家電を中心に底堅い動きがみられるほか、新車自動車販売についても、これまで不振であった小型車が前年を上回ったことから、5月の新車登録台数は前月に比べマイナス幅を大幅に縮小した。この間、市内の観光動向をみると、団体客を中心に入込みが伸悩んだことから、宿泊施設、観光施設とも利用客数は低調に推移した。

農業をみると、水稻、馬鈴薯は好天に恵まれたため順調に生育している。漁業では、6月1日解禁の近海マイカ漁は、順調な水揚げが続いている。

こうした中、5月に実施した短期経済観測

調査結果における管内企業の業況判断をみると、製造業がほぼ横這いとなった一方、非製造業で小売等が前回調査よりも改善したため、全産業では小幅ながら引続き改善した。先行きについても、製造業が改善見込みにあるため、全体の業況感は回復傾向を持続するとの予想。

5月の金融動向をみると、預金は、前月末高止まり（月末日休日要因）の反動から減少したほか、貸出も、需資低迷を背景に減少傾向が続いている。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は小幅低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

水晶振動子が、携帯電話など移動体通信機器の輸内需好調を映じて、引続き増産を図っているほか、半導体も米国向け4MDRAM、家電向けマイコンの需要好調を主因に、高水準の操業となっている。また、合板機械がやや多めの受注残の消化のため、造船も新造船の建造が順調に進捗していることから、ともにまずまずの生産水準を維持。漁業機械は、大口案件向けの生産一巡により足許繁忙感は和らいでいるが、なお高水準の生産を維持している。これに対して、製缶機械は、製缶業者が依然として設備投資抑制スタンスにあるため、減産体制を継続している。また、水産加工機械の売上は、輸出向けの計上により一時的に前年を上回ったものの、国内を中心とした需要低迷状態に変化はみられない。

(2) 食料品

水産加工の売上は、乾燥珍味が需要の低迷から依然低調に推移しているものの、生鮮珍味が新製品投入効果により引続き順調に推移したため、全体では3か月振りに前年を上回った。一方、魚油の売上は順調に推移している。

(3) その他製造業

セメントは、官公需や需要旺盛な東南アジア向け輸出を中心に、フル生産を続けているほか、生コンの出荷も災害復旧工事の本格化に伴い、前年を大幅に上回っている。また、段ボールの生産は、青果物向けを中心に順調に推移している。一方合板は、輸入品の流入増加による供給過剰から出荷が大幅に減少しており、抑制的な生産スタンスを継続している。この間、漁網では、定置網を中心に需要増加がみられるものの、生産は低調に推移。

(4) 建設関連

5月の管内公共工事請負額は、前倒し執行の実施により高水準だった前年の反動および

函館市観光客入込数等 (推計値)

(単位：千人、%)

| | 観光客入込数 | | | 交通機関別 | | | | | |
|--------|-----------|-----------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| | うち 道外客 | 市内 宿泊数 | JR | | バス | フェリー | 乗用車 | 航空機 | |
| | | | 海峡線 | 函館本線 | | | | | |
| 昭和59年度 | 2,597 | 1,179 | 1,410 | 665 | 652 | 521 | 267 | 295 | 197 |
| | 105.8 | 97.8 | 105.9 | 25.5 | 25.1 | 20.1 | 10.3 | 11.4 | 7.6 |
| 昭和60年度 | 2,729 | 1,594 | 1,487 | 656 | 633 | 651 | 268 | 321 | 200 |
| | 105.1 | 135.2 | 105.5 | 24.0 | 23.2 | 23.9 | 9.8 | 11.8 | 7.3 |
| 昭和61年度 | 2,990 | 1,759 | 1,628 | 643 | 612 | 856 | 296 | 370 | 213 |
| | 109.6 | 110.4 | 109.5 | 21.5 | 20.5 | 28.6 | 9.9 | 12.4 | 7.1 |
| 昭和62年度 | 3,423 | 2,134 | 1,851 | 877 | 598 | 973 | 317 | 425 | 233 |
| | 114.5 | 121.3 | 113.7 | 25.6 | 17.5 | 28.4 | 9.3 | 12.4 | 6.8 |
| 昭和63年度 | 3,962 | 2,562 | 2,153 | 1,157 | 669 | 1,049 | 391 | 448 | 248 |
| | 115.7 | 120.1 | 116.3 | 29.1 | 16.9 | 26.5 | 9.9 | 11.3 | 6.3 |
| 平成元年度 | 4,287 | 2,673 | 2,400 | 930 | 646 | 1,466 | 418 | 478 | 349 |
| | 108.2 | 104.3 | 111.5 | 21.7 | 15.1 | 34.2 | 9.8 | 11.1 | 8.1 |
| 平成2年度 | 4,645 | 2,960 | 2,636 | 950 | 699 | 1,525 | 437 | 492 | 542 |
| | 108.4 | 110.7 | 109.8 | 20.5 | 15.0 | 32.8 | 9.4 | 10.6 | 11.7 |
| 平成3年度 | 5,063 | 3,332 | 2,943 | 991 | 784 | 1,598 | 461 | 599 | 630 |
| | 109.0 | 112.6 | 111.6 | 19.6 | 15.5 | 31.6 | 9.1 | 11.8 | 12.4 |
| 平成4年度 | 5,066 | 3,348 | 2,979 | 936 | 751 | 1,638 | 443 | 644 | 654 |
| | 100.1 | 100.5 | 101.2 | 18.5 | 14.8 | 32.4 | 8.7 | 12.7 | 12.9 |
| 平成5年度 | 4,815 | 3,201 | 2,842 | 831 | 695 | 1,532 | 412 | 661 | 684 |
| | 95.0 | 95.6 | 95.4 | 17.3 | 14.4 | 31.8 | 8.6 | 13.7 | 14.2 |

※ 上段：人数、下段：前年対比 (交通機関別は構成比)

【資料：函館市】

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成6年5月

| 品名 | 売上高(千円) | 対前月比(%) | 対前年同月比(%) |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 衣料品 | 2,747,180 | 95.3 | 95.9 |
| 身の回り品 | 641,800 | 93.6 | 98.2 |
| 雑貨 | 656,328 | 84.9 | 86.3 |
| 家庭用品 | 563,288 | 77.2 | 89.9 |
| 食料品 | 1,771,857 | 101.4 | 96.4 |
| 食堂・喫茶 | 153,484 | 103.9 | 98.3 |
| サービス | 72,345 | 100.8 | 75.0 |
| その他 | 517,075 | 93.8 | 100.9 |
| 総計 | 7,123,357 | 93.8 | 94.9 |

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

観光客 入込み数

〈平成5年度〉

函館市では例年、当市を訪れる観光客の調査資料から、その入込み状況を推計しており、これによる平成5年度の概要についてお知らせいたします。

観光客入込み数の概要

平成5年度の来函観光客数は、約481万5千人で、平成4年度に比較して、約25万1千人、5.0%の減少となった。

年間を通してみると、上期（4～9月）は、景気低迷や冷夏、北海道南西沖地震の影響などにより前年同期に比べ、約34万人、8.7%の減少となったが、下期（10～3月）では、約8万9千人、7.8%の増加となった。

交通機関別にみると、下期にバス及び航空機利用客の伸びが目立っている。

下期が好調に推移した要因としては、

- (1) 上期の不振を挽回するため、東京、大阪そして東北3市で、集中的に修学旅行等の誘致説明会や観光キャンペーンを実施したこと。また、旅行者などを対象に函館の観光施設の視察や懇談会を開催し、観光客誘致の協力を要請したこと。

このほか、航空3社、大手旅行代理店が、首都圏で北海道観光キャンペーンを実施するなど、道内の各団体においても積極的にPR活動を展開したこと。

- (2) 定期航空路で結ばれている大阪、福岡地区の旅行代理店などを対象に、これま

で実施してきた冬季観光客およびスキー修学旅行等の誘致説明会、冬季観光振興を意識した冬のポスターの配布など、宣伝事業の成果が表れてきたこと。

- (3) 国内旅行需要を喚起するため、格安のバック商品が数多く企画発売されたこと。
 - (4) 湯の川温泉旅館の冬季宿泊割引（パスポートフェア）対象が拡充されたこと。
- などがあげられる。

図-1 入込み数の推移

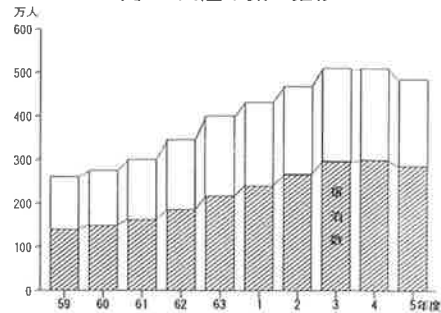


図-2 月別入込み数

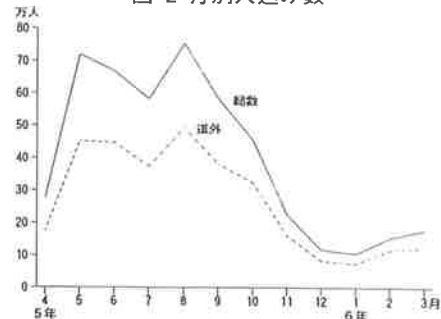
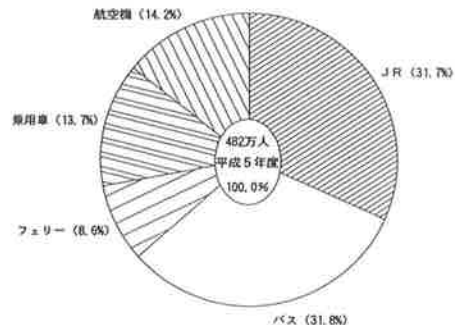


図-3 交通機関別利用率



エイズのボランティア活動

～横浜の国際エイズ会議を成功させよう～

エイズと企業 — 予防と対策 — (12)



エイズ予防財団 専務理事
医学博士 山形 操 六

平成6年8月7日から12日まで、横浜のパシフィコ横浜において、第10回国際エイズ会議が開催されることとなった。

国際エイズ会議は、第1回が1985年に米国アトランタ市で開催されて以来、毎年開催されているが、今回日本で開催される会議は、アジアで初めて開かれるもので、世界140カ国以上から1万人以上の参加が見込まれている。この会議は、医学・生物学・公衆衛生・教育・社会・経済・倫理など、様々な分野からエイズについて考える貴重な場となっている。会議に参加する人々は、保健医療従事者・研究者のみならず、患者・感染者やそれを支える家族、ボランティアの人々、地域で活動している人々、さらに会議の成果を世界に伝える多数の報

道関係者や開催地の一般市民など多くの人々が、国籍、人種、性別、宗教を越えて、エイズへの取り組みを進めるために一堂に会し、情報交換や討論を行うのである。

国際会議を日本で開催する第一の意義は、今や地球規模の問題となっているエイズへの対策を推進する上で、日本が人類社会へ貢献することである。この考えは、会議のメインテーマ——「地球規模でエイズに挑む——未来のために力をあわせて——」にも現れている。また、この会議の開催によって日本におけるエイズへの関心が高まり、国内の様々なエイズへの取り組みが促進されることも期待されている。

第二の意義は、国際エイズ会議には世界の第一線で活躍する研究者が集まり、最新の

研究成果の発表や討論が行われることから、治療薬の予防ワクチンの開発など、国内外のエイズ研究が推進されることである。

さらに、世界人口の50%以上を占めるアジアでは今後感染が爆発的に広がることが懸念されており、日本での会議開催は、特にアジアにおけるエイズ対策の推進にとって重要である。何としても成功させたいものである。

おわり

【山形操六（やまがた・そうろく）氏の略歴】

大正7年東京生まれ、昭和18年慶応義塾大学医学部卒。28年岩手県衛生研究所長。厚生省入り、医務局国立病院課勤務。45年千葉県衛生部長。46年環境庁発足時、初代の大気保全局長。62年財団法人エイズ予防財団専務理事。

今世紀末における世界のHIV感染者の動向

| 地域 | 1993年 | | 2000年 | |
|----------|--------------|------------|--------------|------------|
| | HIV感染者(%)* | 人口(%)# | HIV感染者(%)* | 人口(%)# |
| アフリカ | > 6,500(58) | 289(11) | > 9,000(45) | 397(12) |
| アジア | > 2,000(18) | 1,527(57) | 8,000(40) | 1,843(58) |
| 豪州、欧州、北米 | > 1,200(11) | 646(24) | 1,000(5) | 675(21) |
| 中南米、カリブ | > 1,300(13) | 227(8) | > 2,000(10) | 282(9) |
| 合計 | >11,000(100) | 2,689(100) | >20,000(100) | 3,197(100) |

*：千人 #：百万人（15～49歳）



人を活かす ⑫

「会社人間」から「個性ある人間」へ

ユーズプランニング株式会社

代表取締役 宇角英樹

「人を活かす」ための考え方を一言でまとめると、「求められている行動内容とその人の特性を適合させる」ためにどのような配慮をして、そのような状況を実現させるかということになる。

上司としては、部下が特性を活かした行動をしていけば自然に目的を実現できるように状況を設定してやるか、また、必要な行動がとれるように部下の特性を向上させるような対応をしていくことが大切である。後者のケースでは、実際に質を高めることのほかに部下にその行動ができると思わせたり、とにかく最大の努力でやってみると決心させたりするような共感的対応であってもよい。

このなかで、その人の特性と最も適合する行動様式をとらせてやるという場面が、「人を活かす」場合の基本となるものである。そ

のケースでは、上司がその人の特性を十分につかんでいることが必要である。

ところで日本の会社を見ると、そこでの社員各人の特性とか個性は明確ではなく、秩序に従うことを良しとするいわゆる会社人間の



集団に見える。「人を活かす」というのは、人それぞれの特性に個別に対応する結果である。このような画一的な個人の集団での場合には、それに適合する行動といつても、一般的に適当とされる行動

をするだけあって、各人の特性に見合った最適の行動様式は望めないようである。

日本の会社でも、「人を活かす」という行動はあるわけだが、ほんとうに活かすことができているかどうかは疑問である。

「人が活かす」ためには、その特性なり個性なりを明確に示すことが大切である。今まで、人を活かして動かし業績を上げてきたと思われるケースでも、実は一般的に適当とされる行動をしていただけあって、業績のアップは日本経済自体が成長していたからというケースも多いようである。

これからほんとうに「人を活かす」には、好んで会社の秩序に従う人間が特性のある人間となり、そのような特性を持つ個々人が十分に動きまわられるような組織にする必要がある。

72年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 7月20日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所指導課(23-1181内線62番)にお申込み下さい。